



コミュニティ推進スタッフがお届け

# まちづくりルポ



問山本コミセン TEL923-4079 FAX995-3888

元民生委員の田中さんと女性2人が始めた見守り活動が、現在多くの人の協力により行われている。

「おはよう」「マスクは鼻まであげてね」「今日は早いね」と明るく声をかけ、通学路を何度も往復する田中さん。時には忘れものをした子どものランドセルを預かることもある。田中さんが折り紙でつくった小物は大人気で、子どもたちが次々とうれしそうに受け取っている。登校しない子どもを心配し迎えにいくことや、事情を抱える子どもは声をかけずにただ見守ることもある。



かつての子どもが親になって、自分の子どもを連れてくると「ひ孫やわ」と喜ぶ田中さん。週4日の朝夕のわずかな時間。子どもたちの記憶と心に田中さんはずっといる。

子どもたちの安全・安心のため、登校時を見守る「子どもたちの見守り活動」。今回は子どもたちの見守り活動に取り組む高安西小学校区まちづくり協議会の田中さんの活動を紹介します。



## インタビュー

子どもたちの見守り活動に取り組む田中さんにお話を伺いました

### ▶見守り活動を始めたきっかけは？

20年前にあった池田小学校の事件をきっかけに、「できることをやろう」と始めました。

### ▶どんなときがうれしいですか？

コロナ禍で登校に不安を覚える子どもも多いのではないかと思い、1学期から折り紙づくりを始めました。ユーチューブを見て研究し、花束やランドセルなど、いろいろな形に折って渡しています。コレクションにしてくれる子や新しい形をリクエストしてくれる子がいたりして、少しでも学校に来る楽しみになっていれらうれしいです。



田中さん